

琉球大学教育学部教育振興会 第18号 令和3年10月号

ニュースレター

〒903-0213

沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

Email: kyoikusinkokai@yahoo.co.jp

TEL: 098-895-8317

発行：琉球大学教育学部教育振興会 会長 赤嶺 彬 編集：教育振興会

新会長あいさつ



赤嶺 彬

琉球大学教育学部教育振興会の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルスが世界的に蔓延したことに鑑み、令和3年度の本会決議は書面といたしました。各議案にご承認頂き、感謝申し上げます。上原前会長からのバトンを受けました赤嶺です。宜しく願い申し上げます。

私は娘の教育学部への入学をきっかけに本会の理事になりました。年に4回ほど開催される理事会では大学の雰囲気や学生の様子を知る事ができます。学部長や事務長、事務局職員とも会話できる貴重な場にもなっております。

コロナ禍で学生を始め、会員の皆様も大きな不安を抱えているかと思えます。本会では教育実習対象学生向けにPCR検査費用の補助を行うなど、学生の皆さんが実りある学生生活を送れるよう各支援に取り組みたいと思えます。

また、学生の皆様は授業がオンラインになり、学友にも会えないなど、厳しい学習環境下にあるかと思えます。いろいろな事に耐えて頑張っていることと思えますが、以下に紹介する偉人の言葉が参考になればと思います。

「・・・不自由を常と思えば不足なし。・・・及ばざるは過ぎたるより勝れり。」

これは徳川家康の遺訓として伝わっている言葉の一部抜粋です。

徳川家康は、幼少時代に織田や今川の人質として過ごし、耐え忍ぶ経験から多くのことを学んで、天下を統一しました。

「不自由を常と思えば不足なし」という言葉は、「不自由があたり前と思えば、不満を覚えることもない」ということになります。コロナ禍の影響で世の中が大きく変わろうとしている現在の状況に必要な考え方ではないでしょうか。

「及ばざるは過ぎたるより勝れり」は、「足りないことは度が過ぎるよりも優れている」ということで、自分は足りていないと思うからこそ成長できるという考えです。いろいろな制限や制約で厳しい状況でも、前向きに取り組むことの大切さを感じさせる言葉だと思いました♪

(徳川家康の遺訓には他にも参考になる言葉があります。全文もご覧下さい。)



よろしく
お願いします!!



令和2年度 教育振興会 学生支援奨学金

教育振興会では、アルバイト収入の減少による生活困窮や両親等の仕送り減少による生活困窮（新型コロナウイルス感染症による影響も含む）の学生へ1人5万円の給付型の奨学金を学部生2人、院生2人、合計4人へ支給し、今後の抱負や取組を報告してもらいました。

♣ 学部生 A さん

これまで自分の持つ理想の教師像を目指して、専門科目や教職科目を学んできました。今後は、今までの取り組みに加えて、1つ1つ目標を設定し、何の為に学ぶのか、何を学びたいのかを自分の中で明確にした上で、学修に臨みたいと考えています。また、自分の考えを深める為に、本や他の意見に触れる機会を自らつくり、多角的な視点を持つ事を目指していきます。その為にも、興味関心のあるものには積極的に参加するよう意識していきます。

♣ 院生 B さん

現状、中学生を取り巻く環境は、未責任な情報であふれているように感じられます。生徒たちには、社会的事象に対して自分の意見を持ち、新しい情報に対して、既存の知識をもって吟味する力、更新する力を身につけてほしいと思っています。私の研究では、そのような能力を家庭ではなく学校で、しかも社会科の授業のなかで形成したいと考えています。本研究で扱う批判的思考という概念は、自尊感情とも関係があることがしめされています。なので、沖縄県の自己肯定感の低さへの有効なアプローチにできるように今後研究を進めていきたいと考えています。

♣ 院生 C さん

教育振興会の学生支援奨学金支援を受けて、心に余裕を持って育児と学業に専念することができました。特に、娘にいつもよ

り豪華な食事や絵本を与えられたことはとても嬉しく、胸がいっぱいになりました。学業面では、研究と並行して追加取得を目指していた教職免許を取得することができ、研究成果発表会でも成果を出し切ることができました。

今後は、研究テーマ（高校社会科における「人間としての在り方生き方」教育）を活かして出身地である石垣島の教職員として勤務できるよう試験勉強に励む所存です。教員となった暁には、知識の授業を行う授業だけではなく、生徒自身が「社会で生きる自己の在り方生き方」を考えることができるような教員になりたいです。そのためにも自己の知識や取り組みに慢心することなく常に謙虚な心を持ち、学び続けていく姿勢を忘れずに臨んでいきたいと思えます。またプライベートでは、どんなに辛くても支えてくださる方々がいることを忘れず、ポジティブな気持ちを持って日々を全力で過ごしていきたいと思えます。そして恩返しができる頃には、過去の私と同じように助けを求めている方々にチャンスや支援を与えられるような人間になりたいです。





令和2年度 (R2. 9・R3. 3) 卒業者の進路状況



区分 課程	専攻	A		a	b	就職状況																		
		卒業 者	進 学 者	求 職 者	教 員										教員以外				就職 者計	未 就 職				
					幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		小計	日本人 学校	教員 合計	学校 関係			官公 庁	企業 等	小計	
					県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外										
学校教育 教員養成課程	教育実践							6									6	6			2	2	8	
	子ども開発	32		1	30	1	12	2	1							16	16		1	3	4	20	2	
	国語	18	1		15		5									5	5			4	4	9	0	
	社会科	10			10		1	1	1							4	4			2	2	6	1	
	数学	11			10		1	3								5	5			3	3	8	0	
	理科	7	1		5											0	0		1	1	2	2	2	
	音楽	11	2	1	8		1									1	1		2		2	3	4	
	美術	9			9		3		3							3	3			1	1	4	2	
	保体	5		1	4				2							2	2			1	1	2	2	0
	技術	10			10		3	1								4	4	1		1	2	6		
	生活科学	4			4		1		1					1		2	2			1	1	2	4	0
	英語	4			4		1		1					1		2	2				1	1	3	0
	特別支援	5			5				1					0		1	1				3	3	4	1
	教員養成課程計	8			8									2	2	2	2			1	1	3	3	2
生涯教育課程計	134	4	3	127	0	1	14	8	1	4	0	0	1	1	26	0	26	2	0	7	9	38	19	
生涯教育課程	子ども地域	1			1										0	0				1	1	1	1	0
	沖縄・島嶼				0										0	0					0	0	0	0
	自然環境	1			1										0	0		1		1	1	1	1	0
	生涯健康				0										0	0					0	0	0	0
	心理臨床	3			3										0	0			1	1	2	2	2	0
合計	139	4	3	132	0	1	27	8	1	4	0	0	1	1	43	0	43	1	6	18	25	68	26	

令和2年3月24日(卒業時)現在

※就職状況データの上段は期限付き(臨時的)、下段は正規採用でともに外数。

- ・求職者 → (b) = 卒業者(A) - (進学者(a)) + その他(c))
- ・未就職者 → 教員浪人・公務員浪人を含む。
- ・その他 → 就職を希望しない者、研究生、科目等履修生、専門学校生、留学、資格取得、大学院受験、結婚、社会人入学、進路未定及び進路不詳の者である。



令和3年度 教員候補者選考試験対策セミナー

【模擬授業及び個人面接】



❖本年度も昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響で、教員候補者選考試験の日程が変更になったため、セミナーの日程も変更して開催しました。例年、小中学校の現役の校長先生に依頼していましたが、緊急事態宣言が延長されたため、日程調整が難しく、学内の先生方のみで対応していただきました。



教育振興会総会



令和3年度 教育学部教育振興会 総会（書面審議）の審議結果を、下記のとおりご報告させていただきます。

<結果>

賛成 604 票 反対 0 票 審議事項について、過半数の賛成をもって可決されました。

お忙しい中、書類をご確認いただきありがとうございます。

貴重なご意見、また激励のお言葉をいただきました。

本年度も新型コロナウイルス感染症の関係で総会が中止となり、

保護者の皆様とお顔を合わせる事がなかなかできませんが、

来年度は総会を開催して、皆様とお会いできる事を理事一同

楽しみにしています♪

